

# 地域密着型金融推進計画の進捗状況

平成21年度

のと共栄信用金庫

## 1 . 平成 2 1 年度地域密着型金融推進計画の主な数値目標と進捗状況

(単位：百万円、%、先)

項 目	数 値 目 標	平成 2 0 年度実績	平成 2 1 年度上期	平成 2 1 年度実績
1 . コア業務純益	1,150 百万円以上	1,052	575	1,213
2 . 不良債権比率	5.20 %以下	5.33	5.36	4.74
3 . OHR	76.00 %以下	81.65	76.55	71.65
4 . ランクアップ	10 先以上	15	6	10
5 . 自己資本比率	13.40 %以上	13.35	13.36	13.48

のと共栄信用金庫

## 2. 地域密着型金融推進計画の進捗状況（21年4月～22年3月）

項目	取組内容	進捗状況（成果）	
		21年4月～22年3月	
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化			
(1) 経営改善支援			
のとしんカレッジおよび百錬塾による目利き力強化とその活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種人材育成制度を強化し、目利き力と経営支援能力の向上を図る。</li> <li>中小企業診断士を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目利き力養成実践講座「百錬塾」の継続(4月) 金庫全体計：リストアップ 119先 11,013百万円、ランクアップ実績 10先 310百万円 うち百錬塾：リストアップ 36先 1,162百万円、ランクアップ実績 3先 105百万円</li> <li>「ニューのとしんカレッジ」第15期生の開講（5月） マスターコース8人、ジュニアコース8人</li> <li>外部研修への派遣 北陸地区協主催「企業ランクアップ講座」 2人派遣 「目利き力実践講座」 3人派遣 全信協主催「目利き力養成講座」 2人派遣 「目利き力実践講座」 2人派遣 「企業再生支援実践講座」 2人派遣 等</li> <li>第9回自立型人間養成講座「チャレンジ・マルコポーロ」（先進企業等への単独視察派遣）の実施 6人派遣（9月）</li> <li>初級管理者単位制度の導入(4月) 初級管理者事務研修の実施（5月～9月）</li> </ul>	
適切なリスク管理に基づく適切なリスクテイク	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の証書貸付・手形貸付の一本化商品を発売し、取引先企業の債務一本化を図り資金繰りの安定を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金融安定化商品「まとめま専科」を21年2月に発売 取引先企業の既存の証書貸付・手形貸付を一本化し、当庫融資残高の30%上限に追加融資可能</li> </ul>	
ビジネスマッチング等を活用した販路拡大への支援の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>取引先企業の販路拡大や異業種交流など、中小企業単独での取組みが困難な状況であることから、地域金融機関として支援すべきものと捉え、取組んできた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>しんきんビジネスフェア2009 出展企業 25社 個別商談会企業 1社</li> <li>のとしんビジネスクラブ6期生20名 のとしんビジネスクラブ活動状況 他信用金庫のビジネスクラブとの交流会開催（八幡信用金庫・磐田信用金庫）</li> <li>ゲンキまち発行状況 21年度実績：12件（20年度実績：18件）</li> <li>ビジネスフェアだけではなく、他金庫とのビジネスクラブ交流会等により新たな販路開拓の糸口が見出せた。</li> <li>まだ、具体的な販路開拓実績は上がっていないが、他金庫とのビジネスクラブ交流会により信金のネットワークを活かした取組が出来、今後につながる活動として取組みたい。</li> </ul>	

項 目	取組内容	進 捗 状 況 ( 成 果 ) 21年4月 ~ 22年3月
(2) 事業再生		
ISICOとの連携による企業再生スキームの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画策定支援機関であるISICOと連携し、各種企業再建スキームを活用した企業再建に取り組む。</li> <li>・中小企業再生・事業転換支援プログラム推進連絡会議の趣旨に沿って取り組む。</li> <li>・和倉温泉旅館の一体再生に取り組む。現状は財務・事業デューデリ中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISICOとの連携・支援状況 21年度9先</li> <li>・外部専門機関の再生ノウハウの吸収が図られた。</li> </ul>
環境相談業務の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取引先企業等に対する「いしかわ事業者版環境ISO」「エコアクション21」等環境マネジメントシステムの取得支援</li> <li>・「エコ・サポートローン」の取扱「いしかわ事業者版環境ISO」を取得または取得申請を行った事業者に対し低利融資商品を提供 その他「エコアクション21」、[ISO14001]の取得または取得申請を行った事業者に対しても低利融資商品を提供 20年1月21日発売</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取引先企業にとっては、世界基準の環境マネジメント（ISO14001）取得に向けた基礎作りができた。</li> <li>・「いしかわ事業者版環境ISO」の登録支援 21年度中15先の企業に対し登録支援を行い、うち8先の登録を行った。（20年度からの累計では28先の企業を支援し14先の企業の登録を行った。）</li> <li>・「エコアクション21」の認証取得支援 取引先企業1先に対し認証取得の支援を行った。（22年3月認証取得）</li> <li>・「エコ・サポートローン」 21年度中の融資実績 8件 290百万円（累計18件 487百万円）</li> <li>・取引先企業の環境保全活動等に対して、当庫が評価・支援する力がついた。</li> </ul>
外部専門家機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信金中央金庫総合研究所のノウハウ・ネットワーク等の活用・助言により和倉温泉活性化への提言を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和倉温泉活性化への提言 20年11月：事前調査〔七尾市データ収集・分析等〕 21年 1月：和倉温泉観光協会・信金中央金庫と覚書締結 21年 1月～3月：アンケート調査・関係者ヒアリング実施 21年 4月：中間報告会開催 21年 5月：他地域取材 〔加賀温泉郷・あわら温泉・黒川温泉・雲仙温泉・小浜温泉〕 21年 6月：提言書作成着手 21年 7月：最終報告会開催 21年 9月：関係者向け報告会開催〔地域住民・旅館関係者・商店等関係者約100名参加〕 21年10月～：具体的提言の実行を検討開始 22年 1月～：和倉温泉旅館一体再生に向けて検討開始 3月～：実調査開始（財務デューデリ・事業デューデリ等）</li> <li>・具体的提言を受け、和倉温泉活性化への動きがすこしづつ出てきた。 〔湯めぐり手形・屋台村の実験など〕</li> <li>・地域活性化の取組によりノウハウを蓄積できた。また、地域をより認識することができ、信頼関係も構築された。</li> </ul>

項 目	取組内容	進 捗 状 況 ( 成 果 ) 2 1 年 4 月 ~ 2 2 年 3 月
2 . 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底経営力の強化		
( 1 ) 担保、保証に過度に依存しない融資等への取組み		
担保、保証に過度に依存しない融資の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石川県漁業信用基金協会の信用保証制度の取扱い(一部)開始 21年12月取扱い開始 セーフティネット制度による「経営安定資金」、「生活資金」、「事業資金」の3制度 県内では漁協以外で当金庫のみ</li> <li>・「ご近所ローン」の取扱い開始 19年11月発売 オリックス㈱の保証付</li> <li>・石川県農業信用基金協会の信用保証制度の取扱い開始予定 22年4月の取扱い開始に向け準備 県内は漁協以外で当金庫のみ予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小口の必要資金について調達しやすくなった。</li> <li>・新たな取引先として漁業分野、農業分野への進出が可能となった。</li> </ul>
信用格付システムの再構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担保・保証に過度に依存しない融資等の商品設計や、正確かつ迅速な融資審査を行う為、企業の経営内容の把握の高度化が必要であり、自己査定による債務者区分や信用格付支援システムによる内部格付の整合や、不動産担保評価支援システムの統合による審査事務の高度化の推進。</li> <li>・信金大阪共同事務センターによる融資総合支援システムの開発の為の質問等に対する回答や助言を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信金大阪共同事務センターによる融資総合支援システムの開発への協力。</li> </ul>
中小企業者等金融円滑化法への迅速な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融円滑化特別委員会の設置</li> <li>・相談・苦情相談窓口の設置</li> <li>・全事業先への訪問</li> <li>・消費者資金先への訪問 (融資残高10百万円以上の先)</li> <li>・融資案件記録簿の制定・運用開始</li> <li>・経営改善計画書運用マニュアル改定</li> <li>・生活改善応援プラン策定・運用開始</li> <li>・自己査定基準書・手引書の改訂</li> <li>・金融円滑化管理方針の策定</li> <li>・金融円滑化管理規程・運用マニュアルの策定など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条件変更の積極的利用、他金融機関連携による調整</li> <li>・金融円滑化法に伴い、一定の体制整備が図られた。</li> </ul>

項 目	取組内容	進 捗 状 況 ( 成 果 ) 2 1 年 4 月 ~ 2 2 年 3 月
3 . 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
( 1 ) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み		
環境配慮型経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ I S O 1 4 0 0 1 の計画実践</li> <li>・ 企業の環境経営 ( 省エネ、環境マネジメント取得等 ) の取組支援</li> <li>・ 環境情報の発信</li> <li>・ 能登の森づくり “ 能登の森づくり ” 定期預金 森づくりファンド『やまもり』の再発売 ( 21年4月 ~ 22年2月 ) 森づくりファンドの創設 石動山ボランティアの森 ( 県有林 ) における森づくり</li> <li>・ 啓発商品の発売 “ いしかわエコチケット事業 ” 応援定期預金『エコファミリー500』の発売 ( 21年4月 ~ 21年9月 ) “ 運転免許証自主返納者 ” 専用定期預金『運転卒業宣言』を発売 ( 21年4月 ~ 22年3月 ) “ 地産地消運動 ” の一環として、第46回のとしん懸賞品・懸賞金付定期預金「ふるさと三昧'09」を発売 ( 21年12月 )</li> <li>・ 地域経済活性化支援 FDA小松静岡定期便就航記念定期預金『翼』発売 ( 21年6月 ~ 8月 )</li> <li>・ 児童環境学習の支援 4月28日に七尾市と中能登町の教育委員会と環境学習講座の実施に関する協定を締結 5月に七尾市の13校及び中能登町の5校の小学校6年生に当金庫職員が環境学習を実施 11月16日に全18校が取り組んだ環境学習活動の発表会を実施 ( 18校の6年生及び教職員、父兄等約1,000人が参加 ) 22年1月22日七尾高校1年生に対し環境問題に関する特別講義</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いしかわ事業者版環境 I S O 登録支援 ( 8先登録支援 )</li> <li>・ エコアクション 2 1 認証取得支援 ( 3月に1先認証登録 )</li> <li>・ 地域や顧客の共感を得ることができ、地域での存在感が強まった。</li> <li>・ 金融機関としての本来業務 ( 預金・融資 ) での業績向上に寄与できた。</li> <li>・ 地球温暖化の防止に寄与できた。</li> <li>・ ふるさとの環境保全に寄与できた。</li> <li>・ 「 のとしん環境情報 」 を発行し、環境問題に対する知識の高揚に努めた。 ( 15号発行 )</li> <li>・ 能登の森づくりを実施 ( 6月13日、10月31日 )</li> <li>・ “ 能登の森づくり ” 定期預金 森づくりファンド『やまもり』 販売金額： 202億円 ( 22年2月末 )</li> <li>・ “ いしかわエコチケット事業 ” 応援定期預金『エコファミリー500』 販売金額： 10億円 ( 21年9月末 )</li> <li>・ “ 運転免許証自主返納者 ” 専用定期預金『運転卒業宣言』 販売金額： 2千万円 ( 22年3月末 )</li> <li>・ F D A 小松静岡定期便就航記念定期預金『翼』 販売金額： 8億円 ( 21年8月末 )</li> <li>・ 第46回のとしん懸賞品・懸賞金付定期預金「ふるさと三昧'09」 販売金額： 23億円 ( 22年1月 )</li> <li>・ 児童環境学習の支援 地域の経済社会に影響を及ぼす金融機関として、社会的な問題となっている環境問題について出前講座等を行ったことで、地域住民の環境問題に対する意識の高揚と地域への社会貢献活動ができた。</li> </ul>

項 目		取組内容	進 捗 状 況 ( 成 果 ) 21年4月 ~ 22年3月
子育て支援への取組み強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさといしかわ子育て応援定期預金「だんらん500」再発売 発売期間 21年4月20日～9月30日</li> <li>・「ふるさと石川子育て応援ファンド」の認定商品として、当金庫の運用益の一部を石川県の子育て支援事業に寄付する。 (21年10月27日 250万円を寄付)</li> <li>・平成17年から実施している多子家族金利優遇商品の販売を継続する。 ローン借入支援(金利優遇) 多子家族応援定期預金「子宝1000」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「だんらん500」販売金額： 88億円</li> </ul>	
ライフサポートの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リストラ、ボーナス収入減少などで、返済が困難になった先に対し既存借入の組み直しなどでサポートする。</li> <li>・取組のポイント (1) 再生に意欲的かどうか (2) 家族の協力が得られるかどうか (3) 支出の見直しができるかどうか</li> <li>・生活改善応援プランの運用開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・21年度取扱実績 14件 100,090千円(20年度実績 6件 66,250千円)</li> <li>・金融円滑化法への対応としてはまだ不十分であるが、昨年度実績は大きく上回った。</li> </ul>	
(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供			
高齢者や障害者の利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能登半島復興支援 「のとしん花嫁のれん展」開催 (21年10月5日～11月20日)</li> <li>・のとしん悠々倶楽部 「和倉温泉くつろぎの旅/梅沢富美男 芝居・舞踏と歌謡ショー」実施 (21年7月24日～25日) 舞台観劇「母の贈物」実施 (金沢地区)(21年10月16日) 「九州名湯めぐり」実施 (21年9月29日～10月1日)</li> <li>・退職金専用定期預金「新生活物語」 発売期間 21年3月21日～8月11日</li> <li>・「認知症サポーター養成講座」開講 (5月15日、22日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能登半島復興支援 「のとしん花嫁のれん展」 七尾市の一本杉通り商店街と連携 東濃信金、岐阜信金、西尾信金の年金旅行で約4,000人が来訪</li> <li>・のとしん悠々倶楽部 「和倉温泉くつろぎの旅/梅沢富美男 芝居・舞踏と歌謡ショー」 1,586名参加 のとしん悠々倶楽部(金沢地区) 舞台観劇「母の贈物」 105名参加 「九州名湯めぐり」 82名参加</li> <li>・退職金専用定期預金「新生活物語」販売実績 361件 2,255百万円</li> <li>・認知症サポーター養成講座 50名受講</li> </ul>	

項 目	取組内容	進 捗 状 況 ( 成 果 ) 21年4月 ~ 22年3月
金融機関の不正利用の防止強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マネーロンダリング防止の入口のチェック機能として厳格な「本人確認」を行うとともに、普通預金口座開設の妥当性をチェックする。</li> <li>・マネーロンダリング防止を目的とした日々の取引でのモニタリング機能により「疑わしい取引の届出」を行う。</li> <li>・振り込め詐欺救済法を活用して振り込め詐欺被害者の救済を行う。</li> <li>・マネロン注意先および反社会的勢力の各種注意先情報を、本部において登録し、営業店での口座開設時および融資取組時の注意情報として活用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り込め詐欺の被害拡大を防止している。</li> <li>・本人確認および口座開設妥当性チェックにより不正利用口座の発生を防止している。</li> <li>・疑わしい取引の届出件数 16件(21年)</li> <li>・振り込め詐欺救済法による預金債権消滅手続公告件数 10件 うち被害回復分配金支払手続公告件数 3件(21年)</li> <li>・各種注意先情報の活用により疑わしい取引の発生を防止している。</li> </ul>
地域を担う世代や高齢者への金融知識の普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の街づくり事業等に参画することにより、地域経済の活性化に貢献する。</li> <li>・七尾市経済再生戦略会議への参画</li> <li>・インターンシップの受入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・七尾市経済再生戦略会議への参画 事業の一環として「のと・七尾人間塾」に職員を2名派遣(8月~12月) 大林理事長が「のと・七尾人間塾」第3講で「森づくりは人づくり」と題して講演(9月29日)</li> <li>・インターンシップの受入 平成21年度 高校生11人、中学生2人</li> </ul>
ディスクロの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CSRレポート2009の発行(6月)</li> <li>・ミニディスクロ誌「Annual Report2009」の発行(7月)</li> <li>・ディスクロ誌「REPORT2009 のとしん」の発行(7月)</li> <li>・半期情報誌「半期開示レポートのとしん」の発行(11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定どおり開示することが出来た。</li> </ul>



### 3. 経営改善支援等の取組み実績

【21年4月～22年3月】

(単位:先数)

(単位:%)

	期初 債務者数  A	うち 経営改善支援 取組み先数	(単位:先数)			経営改善支 援取組み率  / A	ランクアップ 率  /	再生計画 策定率  /	
			のうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数	のうち期末 に債務者区分 が変化しなかつ た先数	のうち再生 計画を策定し た先数				
正常先	3,364	5		4	1	0.1%		20.0%	
要 注 意 先	うちその他 要注意先	696	97	6	89	33	13.9%	6.2%	34.0%
	うち 要管理先	34	7	3	2	3	20.6%	42.9%	42.9%
破綻懸念先	54	10	1	4	2	18.5%	10.0%	20.0%	
実質破綻先	105	0	0	0	0	0.0%	-	-	
破綻先	19	0	0	0	0	0.0%	-	-	
	小 計 ( ~ の計)	908	114	10	95	38	12.6%	8.8%	33.3%
合 計	4,272	119	10	99	39	2.8%	8.4%	32.8%	